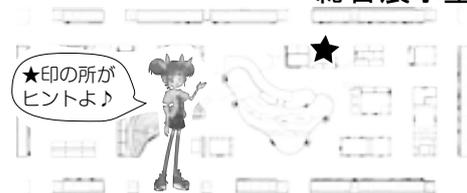
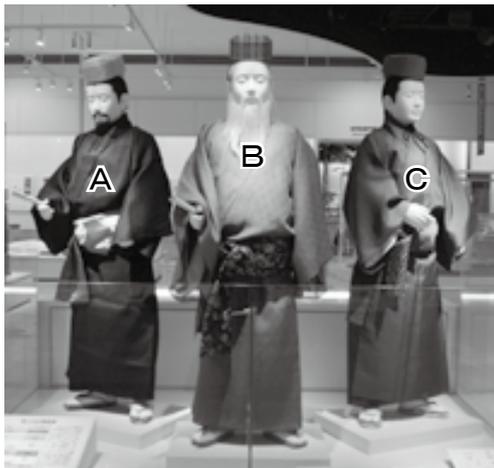


33 琉球王国の位階 い かい



琉球王国の位階の制度は15世紀末（古琉球期）、尚真王の頃に始まりました。
 近世の制度が確立したのは尚貞王しょうていおうの時代です。
 王国では首里城に務める役人は位階によってハチマチと呼ばれる冠かんむりと朝衣ちょういと呼ばれるユニフォームがあり、それぞれ色が決められていました。



琉球・沖縄	日本
旧石器時代	旧石器
縄文時代	縄文
並行時代	弥生
	古墳
	飛鳥
	奈良
グスク時代	平安
	鎌倉
三山時代	南北朝
琉球王国時代	室町
	戦国
	桃山・安土
	江戸
沖縄県	明治
	大正
統治時代	アメリカ
新生沖縄県	昭和
	平成

1. A～Cのハチマチの色と模様を書き、位階を書こう。

	ハチマチの色と模様	位階（よみかた）
A	<input type="text"/>	<input type="text" value="（ ）"/>
B	<input type="text"/>	<input type="text" value="（ ）"/>
C	<input type="text"/>	<input type="text" value="（ ）"/>

2. 近世の身分制度が確立したのは、首里王府の行政機構けいすざに系図座が設置されてからのことです。系図座が設置された年代を書こう。

3. 首里王府は士族身分けいもち（系持）と百姓身分むけい（無系）を明確に別けるために、士族だけに系図の所持を認めました。系図のことを別名何というか書きましょう。

ヒント 「4-3 王府と民衆」の展示コーナーから探そう。